

(様式1)

3 毎年度実施の学校アンケートで、以下の結果について、それぞれ80%以上を目指す。

生徒対象「インターンシップは勉強になったし、充実していた」

平成30年度96.8%

生徒対象「研修旅行は勉強になったし、充実していた」

平成30年度99.5%

生徒対象「自分は実習を通じて、技術・技能が身についた」

平成30年度97.7%

保護者対象「本校は、企業見学、研修旅行、インターンシップ等が充実している」

平成30年度97.7%

4 教職員アンケートで、以下の結果を目指す。

ものづくりに関して、近隣地域と連携して概ね成果が上がった

→「成果があった」との回答が全体の80%以上

中学生体験学習・学校公開等を通して、中学生や保護者へ本校の内容を概ね伝えることができた

→「伝えることができた」との回答が全体の80%以上

5 保護者アンケート「家庭への連絡がきめ細かく行われた」等アンケート集約結果で、「行われた」との回答が全体の80%以上をめざす。

3 事業計画（事業名、事業概要）

【高等学校課事業】

1 外部人材活用事業（社会人講師活用事業）

エネルギー問題の解決策について学ぶ環境エネルギー科では、外部からさまざまな部門で有識者を招き、知識や技能の習得を図る。

（1）LEDの応用について

最新のLEDについて、広告塔などの活用例や、照射角・消費電力など、従来品との違いに関する講義を受ける。

2 鳥取県版キャリア教育推進事業

（1）社会人となるための心構え ～3年生～

卒業を控えた3年生が、県外から招いた講師から、社会の一員となるための心構え、在学中にすべきことなどについて指導を受ける。

（2）先輩に学ぶ ～2年生～

就職や進学を控えた2年生に対して、本校の卒業生が、現在の職業や社会人としての生活、学生生活を送るうえで大切なことなどを伝えることによって、生徒の将来の進路選択の一助とする。

（3）先輩に学ぶ ～1年生～

将来の夢や目標がまだ明確になっていない生徒も多い1年生に対して、本校の卒業生が、就職または進学に至るまでの経緯や、在学中に思い描いた夢や希望などを伝えることによって、生徒の将来の進路選択の一助とする。

【独自事業】

1 専門的資格取得の推進

(1) 機械加工技能士（普通旋盤作業）と電気工事士の資格取得に対する支援

資格を取得している生徒を求人する企業が多くあり、キャリア教育の一環として資格取得を推進することは産業界の要請に応えることでもあることから、生徒の在学中の資格取得をしっかりとサポートする。

2 インターンシップ・県内企業研修・県外企業研修の充実

(1) インターンシップの充実

2年生全員に対して各科の特性に沿った企業への就業体験を行い、職業人としての心構えや姿勢について学ばせる。また、企業現場での実習を通して、企業における専門的かつ実用的な知識や技術・技能に触れることで、学習意欲の向上を図る。

(2) 企業研修の充実

① 1年生 県内企業研修

地元企業の現場視察を行い、産業界全般に対する認識を深めさせ、将来の進路選択に一層明確な目標を立てさせる。

② 2年生 県外企業研修

関西・東海方面の企業の視察を各科の特性に沿った企業で行い、企業における専門的かつ実用的な知識や技術・技能を見聞することで、勤労観・職業観を生徒自らが形成・確立するための一助とする。

3 ものづくり事業の充実

(1) 高校生ものづくりコンテスト活動支援

将来の地域産業を担う人材育成に向け、各部門でコンテストの上位入賞を果たすために、年間を通じて技術・技能の向上をしっかりとサポートする。

(2) 技能五輪出場を目指す人材づくり

グローバル人材は世界を目指す環境で磨かれているが、ものづくりの優秀な担い手を育成するためにも、最先端を走る企業などを視察し、全世界レベルの技術・技能が生徒に習得させることができる。

(3) 各種大会・課題研究への支援

課題研究における作品製作、製品開発の目的は、生徒のものづくりに興味関心を持たせることが目的の一つでもある。ものづくりの対外的な大会への参加や加工技術の向上につながるような活動をしっかりとサポートし、生徒の学習意欲や加工技術の向上を図る。

① マイコンカーの製作

マイコンカーを製作し、マイコンカーラリー全国大会への出場を目指す。

② 空気圧エンジンの製作

熱力学や流体力学の学習を通し、環境に配慮した空気圧エンジンの製作に取り組む。

③ アイデアロボットの製作

与えられた課題をクリアするためのロボット製作を行い、全国高等学校ロボット競技大会へ参加する。

④レスキューロボットの製作

被災地で救助に当たるレスキューロボットを製作し、大規模都市災害において生命救助活動を題材としたレスキューロボットコンテスト全国大会に出場する。またレスキューロボット製作に関して、高大連携の一環として、公立鳥取環境大学と遠隔ミーティングを行って、指導を仰ぎ、技術と技能の向上を図る。

(4) 環境エネルギー科充実支援

環境に関連した技術を身につけ、地球環境と調和した継続的な技術発展に寄与する工業人を育成するため、以下の事業を行う。

①クリーンエネルギー講座の開催

クリーンエネルギー事業に携わる技術者を講師として招き、社会におけるクリーンエネルギーの役割と自分たちにできることは何かを考える。

②ソーラーラジコンカーの製作

太陽光を利用したソーラーラジコンカーを製作し、全国ソーラーラジコンカーコンテストへ出場し、最新技術の習得を図る。

③指導力向上に向けた講習会への参加

さまざまな分野で、教職員が新たな技術や資格取得に関する研修に参加して、指導力を向上させることで、生徒の知識や技術・技能の工場や習得や資格取得の推進を図る。

④電気系資格取得の推進

第二種電気工事士の資格取得に向け、筆記試験対策及び技能試験対策の講習を外部人材とタイアップして行う。生徒が資格を取得することにより、キャリアアップへの意欲向上につなげる。

4 開かれた学校づくりの推進

(1) 中学生体験学習

中学生が本校へ入学する際には、各科の特色や教育内容を十分理解しておかないと、入学後の学校生活に大きな影響を受けることになる。本校の責務は、中学生が目的意識を持って進路を選択できるようになることをねらいとして、各科の施設・設備の見学と実習等の体験をとおして、より一層各科の特徴・内容の理解を図る機会を設定する。

(2) 出前授業

本校生徒が実習で培った技能を、中学校での出前授業という形で還元する機会を設けることで、小中学生に本校を身近に感じ、興味・関心を持ってもらうとともに、本校生徒に達成感を感じさせることで学習効果向上の一助とする。また、小中学生を指導することによって、本校生徒のコミュニケーション能力を向上させる取組とする。

(様式1)

(3) 地域への貢献

地域社会・産業界に貢献する人材の育成を本校のミッションとしている。それを果たすためには、地域に愛着をもち、積極的に関わりながら生活しようとする生徒の育成が必要であり、また、地域社会にも本校の工業教育についてよく理解してもらうことも必要である。

(4) 保育園児との交流

少子化の進行や地域間交流の減少に伴い、高校生が幼児とふれあう機会が減少している。また、共働き世帯が増加するなか、性別を問わず子育てに参加できる環境が望まれている。さらに、近年は「ひとり親家庭」も増加し、親への育児の負担はより大きくなっている。